

【適時開示体制の概要】

1. 適時開示に係る当社の基本方針

当社の企業行動憲章「TOYOTA TIREグループ企業行動憲章」において、「ステークホルダーと透明で公正、誠実なコミュニケーションを実施します。」と定めています。この項目を適時開示の基本方針とし、コーポレート・ガバナンス体制強化に向けた重要な取組みに位置付けております。また、「インサイダー取引防止規程」を定め、重要情報の管理、インサイダー取引の禁止他を規定しています。

2. 適時開示に係る社内体制の概況

- (1) 会社情報については、金融商品取引法、有価証券上場規程及び当社「インサイダー取引防止規程」等に基づき、各経営会議体（取締役会、経営会議、各種専門委員会）において、情報管理の徹底を図っております。
- (2) 重要な決定事実及び決算に関する情報は、定時または臨時の取締役会（監査役出席）にて付議・決議を経た後、速やかに情報開示部門（総務部門）を通じて適時開示を行い、併せて当社ホームページにも掲載しています。
- (3) 重要な発生事実に関する情報は、上記の決定事項に準じて開示しますが、緊急の場合は、社長及びコーポレート統括役員の判断により速やかに開示し、その後の直近の取締役会（監査役出席）にて報告されることになっております。

※適時開示の社内体制（基本的な情報の流れ）は次のとおりです。

